

平成23年度 生坂村有線テレビジョン番組審議会 議事録

日 時 平成24年1月26日(木) 午後1時30分
場 所 生坂村役場 第3会議室
出席者 生坂村有線テレビジョン番組審議会委員 10名
藤澤村長、藤原総務課長、山本総務係長、藤澤主任、岩下主事補

1. 開 会

2. あいさつ

村長

- ・ICN 23日の臨時議会にて文字放送のナレーション化予算議決。
- ・各ブログ等の更新頻度を多くして積極的な情報発信を。

3. 会長・副会長選出

新会長 平田 正夫(区長会長) 新副会長 坂爪 基浩(商工会長)

4. 協議事項 進行 平田会長

(1) ICN 施設運営及び放送内容について

説明) 加入状況について 依然として地上波を直接受信可能な地区の未加入世帯があるが、小立野区においては新規4件加入。1月1日現在 合計802世帯中724件加入(90.03%)

説明) 予算執行について 中部電力の電柱移設に附随してケーブルを移設し、3,232千円の工事費を支出。電柱共架の規約で電柱の移設がある場合、ケーブルの移設は村で負担し、速やかに対応することとなっている。

(2) ブロードバンド施設の運営状況について

説明) 加入状況について 平成23年中37件加入

説明) 予算執行について 緊急対応修繕材料として450千円を計上。光ケーブルは受注生産のため、倒木等による断線が発生した場合予備のケーブルを保有していないと復旧に相当の時間がかかる。保管については保守業者に預けている。

(3) 広報に関するアンケートの集計結果について

説明) 公報全般に関して 「広報いくさか」「ICN (文字放送)」「同報無線」は、ほとんどの村民が必ず、またはたまに見ている。「ホームページ」については、パソコンを持たない世帯が半数近くあり、村民で見ているのは1割程度である。主に村外への情報発信媒体として利用されている。

【委員からの意見】

○広報いくさか

○ICN

Q. JA からののお知らせを流せないか。

A. 農水省の補助金を用いて設立された CATV では JA からののお知らせを流すよう規定がある。当村はそれに該当しないが、依頼があれば放送は可能。

Q. すべての CM のコマに放送内容のインデックスを付け、いつ見ても1サイクル中のどこのコマなのか分かるようにして欲しい。

A. 技術的には可能であるが、現在のシステムでは非常に手間がかかる。

○同報無線

Q. 屋外子局からの放送がハウリングして聞き取りにくい。東京電力の放流警報はクリアに聞こえるが。

A. 東京電力のスピーカーは、川に向かってなおかつ少数のスピーカーで放送されているため反響が少なくクリアに聞こえる。同報無線は、すべての集落に向けスピーカーを向けて設置しているため、スピーカー同士の干渉、また山からの反響の影響を受けやすい。それらの影響が少なくなるように子局の設置場所は設計されたが、現状を確認して場合によっては修繕を施す。

○ホームページ

意見) 村外への発信を充実させるべきである。移住希望者の問合せも多いので、空き家・子育て支援などまとめたページを、移住支援ページとして開設してはどうか。

意見) トップページの改良を。文字ばかりであるので、村内の風景写真などをトップページに大きく載せてはどうか。

5. 閉会